

平成 20 年 11 月 14 日
パリ産業情報センター
駐在員 社本 朗

一般調査報告書

エレクトロニカから垣間見るヨーロッパ・フランスの電子機器産業

2008 年 11 月 11 日(火)～14 日(金)の 4 日間、ドイツ・ミュンヘンでエレクトロニカ (Electronica) 2008 が開催された。

会場では、自動車部品、半導体、組み込みシステム、エレクトロメカニクスなどの分野ごとに分かれて 2,800 ものヨーロッパ企業・団体が出展していた。

会期中は電子技術・産業が活かされている「自動車部品」、「組み込みシステム」、「ワイヤレス」などのテーマでフォーラムを開催された。

現在、半導体に代表される電子技術は自動車部品、航空機部品等の輸送機器部品にも広く応用されている。

ヨーロッパ全体の半導体産業の動向、フランスの半導体等電子産業の現状を簡単に紹介する。

<エレクトロニカ 2008>

エレクトロニカは 1964 年以來、2 年に一度行われる世界最大規模の電子部品・半導体の B to B (企業間取引) の専門展示会である。

今年は世界から約 2,800 もの企業・団体が出展し、約 73,000 人が入場した。

自動車分野では、自動車メーカーが二酸化炭素排出削減、安全、信頼性、運転快適性などを追求していることから、今年はそのためのソリューション技術・システムを提案している企業の出展が多かった。

ST マイクロエレクトロニクスやインフィニオンなどの欧州企業、リースケールなどのアメリカ企業、カシオコンピューター、日立、NEC などの日本企業が出展していた。

ミュンヘンメッセ会場 14 ホールを使った当展示会では、電子技術を使ったエネルギー効率向上、エネルギー充填システム、発電装置システムなどが多く展示され、環境保護に関する電子技術の紹介も目立った。

電子部品・半導体の分野でも、省電力、小型化、多様なアプリケーションへの対応などが強みとなっている製品が多く、企業の多くは「環境」に配慮した商品・部品であることを強調していた。



出展企業の日本市場への関心度は、現在の金融危機に発した経済停滞を反映してか、多くのヨーロッパ企業の日本市場への興味は少し薄れていると感じられ、どちらかという地盤であるヨーロッパ市場を強化しようという姿勢が感じられた。

ただ日本を含めたアジア地域では半導体市場は伸びていることから、例えば日本企業と共同のプロジェクトを行いながらアジア市場で活動を拡大する、といったことに興味をいただいている企業もあった。

<欧州の半導体市場>

2007年のヨーロッパにおける半導体の成長率は、ドルで表すかユーロで表すかによって大きく違ってくる。

これは為替の影響によるもので、もしドルで計算するならば対前年比 2.7%の上昇で、約 4 兆 970 億ドルの売上となり、この上昇率は予想されていた率 3.2%をわずかに下回っているだけであるので、ほぼ予想どおりの結果である。

一方ユーロで計算すると前年比 5.8%の減少となってしまう、約 2 兆 9920 億ユーロとなってしまう。

ユーロ建てで活動を行っているヨーロッパ企業によっては為替による影響が非常に大きかった年であったといえる。

一方、全世界の半導体市場は、ドルで計算した場合 5.2%の増加となっている。

アジア地域が 6%の増加を記録している一方、アメリカが 5.7%の減少を記録するなど地域によってかなり差がでる結果となっている。

<フランスの半導体市場>

2007年のフランス半導体市場は対前年比 14.1%の減少、約 27 億 22 百万ユーロの売上であった。

ドルで売上を計算すると、6.4%の減少となることから、この大きな減少幅は、ユーロとドルの為替の影響が最も大きな原因と考えられる。

分野別にみると、集積回路は 7.2%の減少、ダイオード、トランジスタなどのディスプレイ半導体は 0.9%の減少となっている。(いずれも対前年比、ドルで計算した場合)

分野別では、流通産業で使用される半導体が約 20%を占めているが、前年と売り上げを比べると 14.9%の減であった。

大きな変動としては、一般消費者向けの製品の売上が前年比 24.4%増えた一方、電話・テレビなどのテレコミュニケーション産業での売上は前年比 53%減を記録している。

これは企業の生産活動自体が停滞したことや、主な企業が東欧などに拠点を移動したことなどによるところが大きい。

自動車産業への半導体売上は全体の 15.2%で、IT、流通産業に次ぐ大きな市場となっている。

<まとめ>

半導体を中心とした電子技術は、自動車分野では高級車になればなるほど多く搭載される傾向にあり、快適・安全な運転をするのに欠かせないパーツとなっている。

また効率的な燃費、二酸化炭素排出減を目指すためにも不可欠な要素となっている。

自動車、航空機分野企業をターゲットにした電子技術を持つ企業にとって、エレクトロニカは最新の市場動向、市場ニーズ、潜在的なパートナー探し、自社製品の PR には最適な見本市の一つであると感じられた。

今回の開催は 2010 年 11 月 9～12 日、4 日間が予定されている。

エレクトロニカのホームページ

<http://electronica.de/en/home>